

寺院・教会  
本山世話方 各位

小松大聖寺教務所長 保木悦雄

真宗本廟収骨代行の終了について（通知）

謹啓 酷暑の候、貴殿におかれましては、ますますご清祥のことと拝察いたします。

平素は法義相続・本廟護持の相続講にご尽力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

さて、7月26日・27日に開催された教区会・教区門徒会において、コロナ禍の一時対応として2020年9月から実施している真宗本廟収骨代行について、2024年6月末（2023年度末）をもって終了とすることが、賛成多数で可決されました。

終了の理由は下記のとおりですが、一方で「どうしても本山まで行けないという方のための受け皿を設けてほしい」「相続講金を集める者からすれば、収骨代行でも本山に納めてもらえるのだから募財・収納につながる」「ご遺骨が本山に納まっているから、また参ろうということにもつながる」というご意見や、「終了するならば、別の方途や対応を考えるべき」「寺院方からも本山収骨を門徒にもっと勧めてもらいたい」というご要望があがっております。

このことは相続講募財制度の課題として受け止めていくべきこととありますので、今後、教区財務委員会等で検討させていただきたいと存じます。

寺院・教会、本山世話方の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜り、有縁のご門徒方にもお知らせいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

合 掌

記

1. 真宗本廟収骨代行終了の時期

2024年6月末（2023年度末）

※代行日は後日決定します。申請の手続きは代行日の1週間前までとなります。

2. 真宗本廟収骨代行終了の理由

- (1) 新型コロナウイルス感染症が2023年5月から「5類感染症」となって、行動制限も解除されている状況であり、ご遺族が自ら本山へ上山することが可能となっているため。
- (2) 直接ご遺族が本山に参拝し収骨されることが真宗本廟収骨の本来の願いであり、上山を奨励することこそが相続講の活性化につながるため

添付資料

- 1 真宗本廟収骨代行のご案内（チラシ）[2023年度版]

1部  
以上